

小学校の将来のあり方に係る 地区懇談会

飯豊町立小学校の現状と
子どもたちへのより良い教育環境の整備

飯豊町教育委員会



我が国の子どもの数 (総務省統計局資料より)

〇こどもの数は1553万人、37年連続の減少

- ＊ 平成30年4月1日現在におけるこどもの数(15歳未満人口。以下同じ。)は、前年に比べ17万人少ない1553万人で、昭和57年から37年連続の減少となり、過去最低となりました。

- ＊ 男女別では、男子が795万人、女子が758万人となっており、男子が女子より37万人多く、女子100人に対する男子の数(人口性比)は104.9となっています。



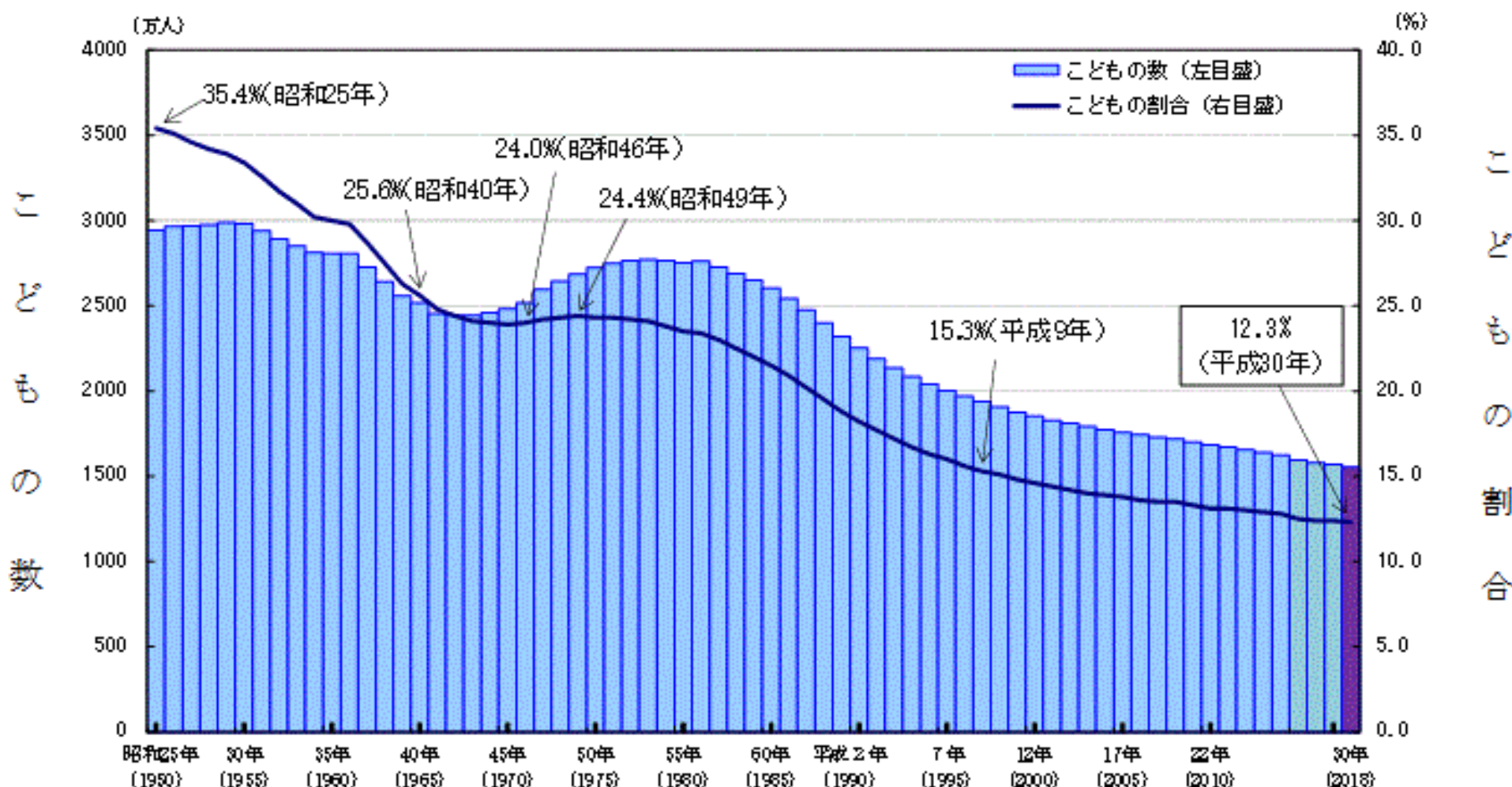
表1 男女別こどもの数

		平成30年 4月1日現在	平成29年 4月1日現在	対前年 増減数
こどもの 数 (万人)	男女計	1553	1570	-17
	男	795	804	-9
	女	758	766	-8
	人口性比	104.9	105.0	-0.1
総人口 (万人)	男女計	12653	12676	-23
	男	6156	6168	-11
	女	6497	6509	-12
	人口性比	94.8	94.8	0.0
総人口に占める こどもの割合(%)		12.3	12.4	-0.1

注) 表中の数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合があります(以下同じ)。

我が国の子どもの数 (総務省統計局資料より)

図3 こどもの数及び割合の推移

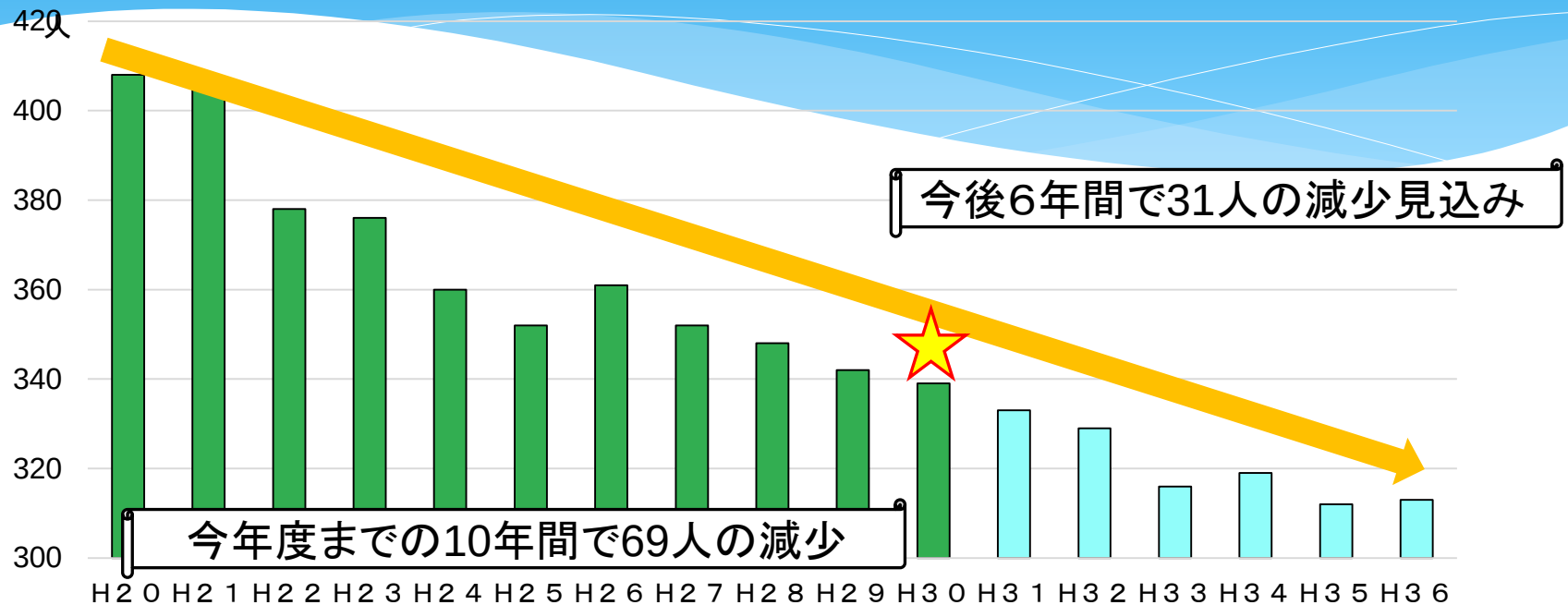


資料：「国勢調査」及び「人口推計」

注) 平成29年及び30年は4月1日現在、その他は10月1日現在

町内小学校児童数の状況

小学校児童数の推移



【小学校年度別児童数の状況】学校基本調査より 平成30年6月1日現在(単位:人)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H36-20
小学校	408	406	378	376	360	352	361	352	348	342	339	333	328	314	316	308	308	△100

町内幼児施設・小・中学校の現状(平成30年6月1日現在)

① 幼児施設の園児数 (合計234人)

施設名	わくわくこども園	つばき保育園	手ノ子幼稚園	添川児童センター
園児数	乳38人・幼78人	40人・41人	12人	25人

0～2歳

3～5歳

② 小学校の児童数・学級数 (合計339人)

学校名	第一小学校	第二小学校	手ノ子小学校	添川小学校
児童数	158人	88人	43人	50人
学級数	6+2	6	4	5

③ 中学校の生徒数・学級数 (学級数の+2, +1は特別支援学級数)

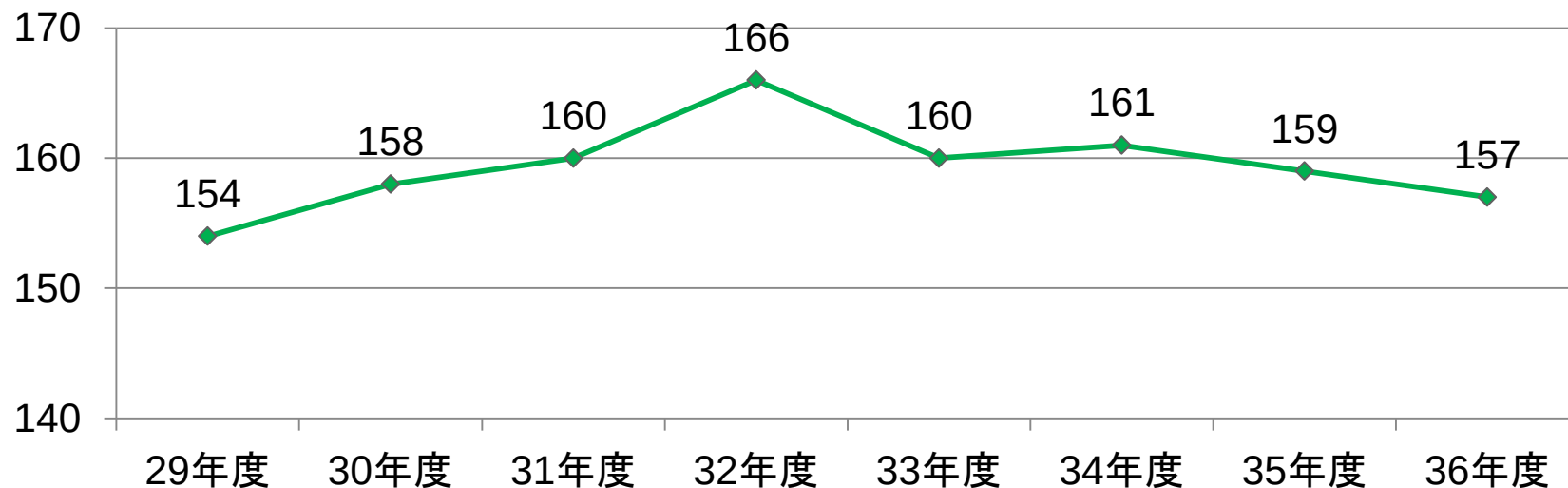
学校名	飯豊中学校
生徒数	172人
学級数	6+1



第一小学校児童数の推移

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	27	29	31	30	22	22	25	27
2年生	21	27	29	31	30	22	22	25
3年生	28	21	27	29	31	30	22	22
4年生	24	28	21	27	29	31	30	22
5年生	29	24	28	21	27	29	31	30
6年生	25	29	24	28	21	27	29	31
計	154	158	160	166	160	161	159	157
学級数	6	6	6	6	6	6	6	6

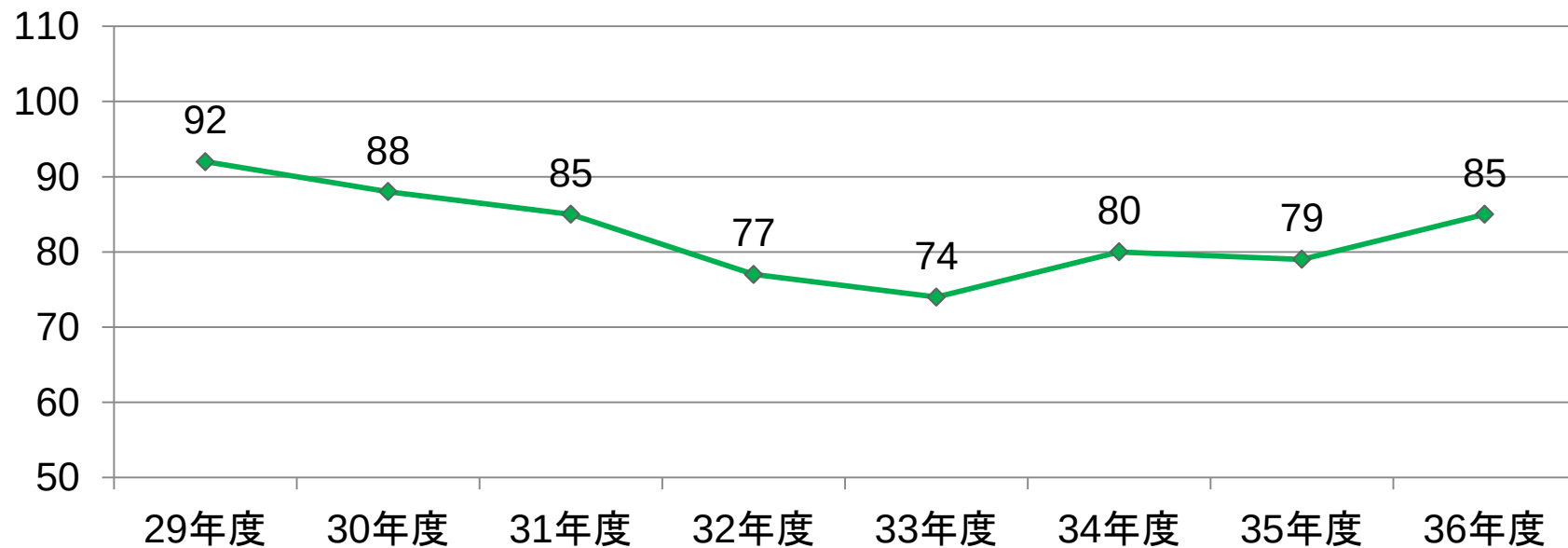
(特別支援学級数は含まず)



第二小学校児童数の推移

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	18	10	14	14	9	15	17	16
2年生	9	18	10	14	14	9	15	17
3年生	12	9	18	10	14	14	9	15
4年生	22	12	9	18	10	14	14	9
5年生	17	22	12	9	18	10	14	14
6年生	14	17	22	12	9	18	10	14
計	92	88	85	77	74	80	79	85
学級数	6	6	6	6	6	6	6	6

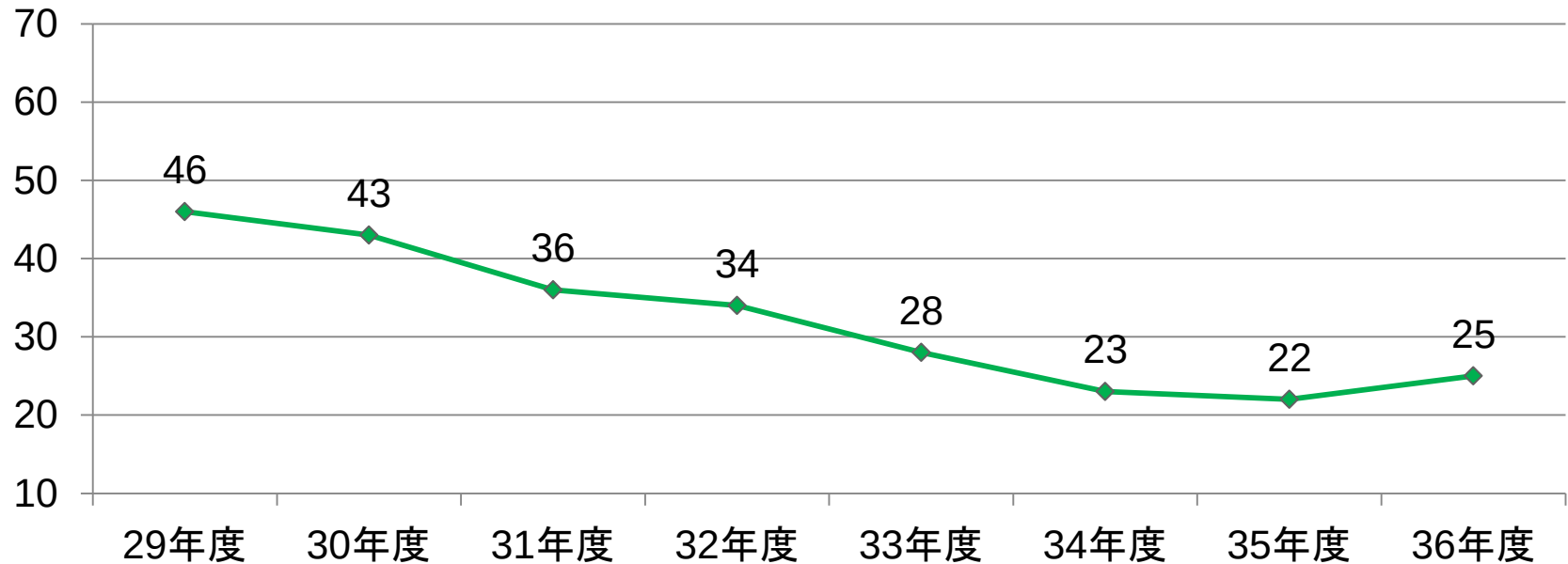
(特別支援学級数は含まず)



手ノ子小学校児童数の推移

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	4	4	7	4	3	1	3	7
2年生	6	4	4	7	4	3	1	3
3年生	9	6	4	4	7	4	3	1
4年生	6	9	6	4	4	7	4	3
5年生	14	6	9	6	4	4	7	4
6年生	7	14	6	9	6	4	4	7
計	46	43	36	34	28	23	22	25
学級数	5	4	4	4	3	3	3	4

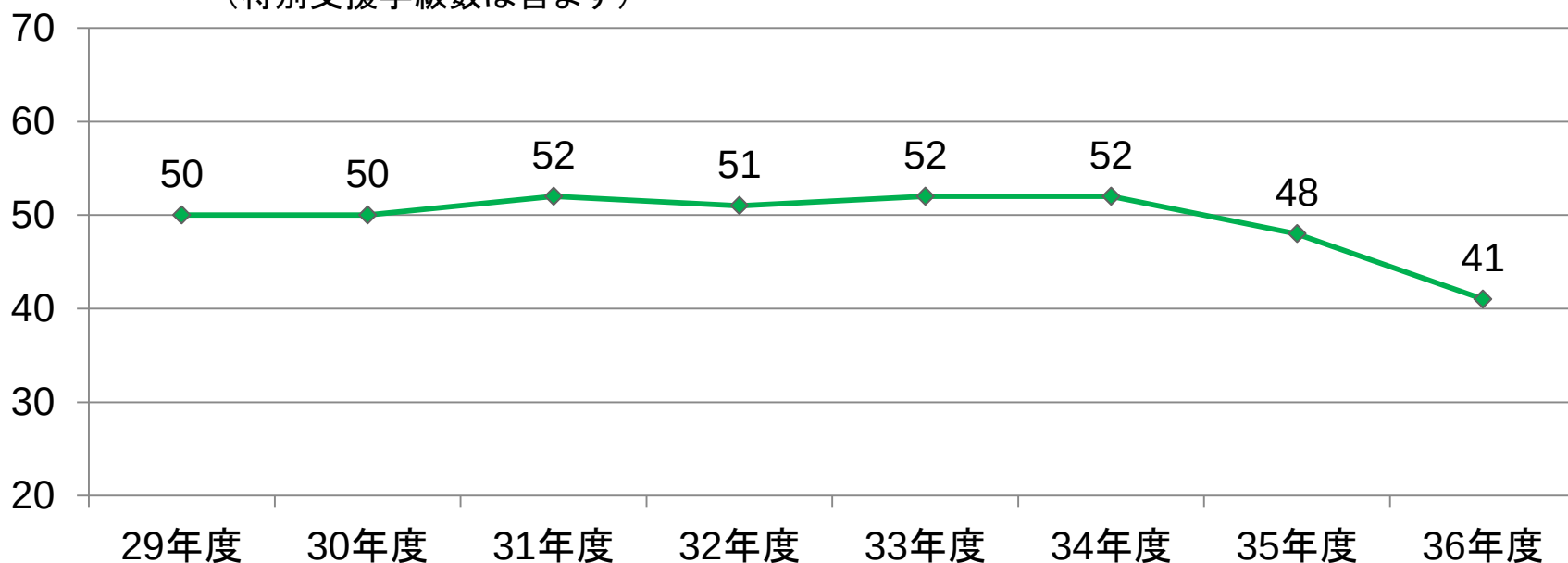
(特別支援学級数は含まず)



添川小学校児童数の推移

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	36年度
1年生	9	11	8	6	10	8	5	4
2年生	8	9	11	8	6	10	8	5
3年生	9	8	9	11	8	6	10	8
4年生	7	9	8	9	11	8	6	10
5年生	6	7	9	8	9	11	8	6
6年生	11	6	7	9	8	9	11	8
計	50	50	52	51	52	52	48	41
学級数	5	5	5	6	5	5	5	4

(特別支援学級数は含まず)



飯豊町小学校児童数の変動による学級編制の推移と教育環境の変化

	編制の内容	学級数	各学校の年度ごとステージ推移予測								教育環境	教員配置数	通学への影響
			H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36			
1	全学年1学級	6	第一 第二	第一 第二	第一 第二	第一 第二 添川	第一 第二	第一 第二	第一 第二	第一 第二		①校長1 ②教諭8(教頭・教諭) ③養教1 ④事務1	
2	複式1学級と 単式4学級	5	手ノ子 添川	添川	添川		添川	添川	添川		①複式学級 ②教員数減少:級外教員なし ※学校行事等への支障あり	①校長1 ②教諭6(教頭・教諭) ③養教1 ④事務1	あり
3	複式2学級と 単式2学級	4		手ノ子	手ノ子	手ノ子				手ノ子 添川	①複式学級 ②教員数減少:級外教員なし ※学校行事等への支障あり	①校長1 ②教諭5(教頭・教諭) ③養教1 ④事務1	あり
4	複式3学級 (1・2年、3・4年、 5・6年)	3					手ノ子				①複式学級 ②教員減少:事務職員配置なし ③全校挙げての行事に影響あり ※学校行事等への支障あり	①校長1 ②教諭4(教頭・教諭) ③養教1	あり
5	複式3学級 (1学年が極めて 少人数)	3						手ノ子	手ノ子		①複式学級 ②教員減少:事務職員配置なし ③全校挙げての行事に影響あり ④同級生がいない児童が出現 ※学校行事等への支障あり	①校長1 ②教諭4(教頭・教諭) ③養教1	あり

飯豊町が目指している教育

飯豊町教育大綱(H27.10策定)

～町の未来を創造する人材の育成をめざして～

【基本理念】

高い志と誇りを持ち、飯豊のあすを拓く人づくり

誇り

志

挑戦

交流

これまでの経過

- 平成17年 9月 「行財政改革推進特別委員会」飯豊町議会報告
 ➡ 小学校2校・中学校1校にすべき
- * 平成18年12月 「町学校・幼児教育環境将来構想検討委員会」報告
 ➡ 小学校1校・中学校1校・幼児施設2園が望ましい。
- * 平成20年 7月 「町学校・幼児教育環境将来構想検討」教育委員会まとめ
 ➡ 当面小学校2校・中学校1校が望ましい。幼児施設2園目指す。
- * 平成25年 4月 小学校統合(中津川小・手ノ子小)
 中学校統合(中津川中・飯豊中)
- * 平成28年 4月 認定こども園「いいでわくわくこども園」が開園
 幼児施設統合(さゆり保育園・いいで中部幼稚園)
- * 平成29年 3月 「町立小学校適正配置基本計画」教育委員会
 ➡ 小学校2校に再編
- * 平成29年 5月 「適正配置基本計画」総合教育会議
 ➡ 小学校2校に再編を了承



学校再編に向けた基本的な考え方

◇少子化が進む現状を鑑み、学校としての機能を十分に発揮できる教育環境の整備と、学校教育の質を確保する

＜小学校＞

○町内小学校を2校に再編統合する

第一小学校⇒現状のまま

第二小学校・手ノ子小学校・添川小学校

⇒1校に再編統合



学校の再編検討に向けた基本的な考え方

- 1 子どもたちにとって
より良い教育環境を
整える



- 2 規模の大小による
メリット・デメリット
のみで再編の判断
の拠り所にはしない



- 3 保護者や住民の意向
に沿った進め方に努め
る



- 4 地域づくり、町の将来
を考えた進め方を心
がける



学校がもつ機能

小・中学校は、児童生徒の能力を伸ばしつつ、社会的自立の基礎、国家・社会の形成者としての基本的資質を養うことを目的としています。（教育基本法より）

①教科の知識や
能力の習得



②集団の中で互いに
理解・励まし合い、
競い合う環境



③グループ別学習
集団活動・学校行事
等の確保



↑
いいでめざみっ子♪



1学級20名程度(4～6人の班が3班以上)のよさ

～子供たちにとってのメリット～

<少人数のよさ>

- ・発表やリーダーなどの機会が多くなる
- ・教材・教具など一人ひとりに整備しやすい
- ・仲間意識、異学年人間関係が深まりやすい
- ・機動的な体験的活動や校外活動がしやすい
- ・地域の協力、教育資源を生かしやすい
- ・教師間の連携が相互にとりやすい
- ・教師の目が一人ひとりに行き届きやすい



他

<少人数による制約>

- ・運動会・学習発表会等の学校行事
- ・集団学習や実験などの学習形態
- ・多様な見方や考え方等に触れる機会
- ・他との関わり合いと人間関係の広がり
- ・教師一人あたりの役割の増加

他

<20名程度のよさ>

○広がりがありながら、全員が仲間として意識できる集団規模

○自立を促しながらも、教師の目が届く集団規模

・双方のよさを
生かすことができる。
・双方の制約に関わる
影響が少ない。

<多人数のよさ>

- ・運動会・発表会等、多様な展開がしやすい
- ・球技や合唱等、多様な学習形態ができる
- ・多様な見方・考え、表現に触れる機会が多い
- ・相手意識、社会性の涵養が図りやすい
- ・班活動、グループ分けなど、学習内容や人間関係に応じた工夫等がしやすい
- ・教職員の研修会参加等、調整がしやすい



他

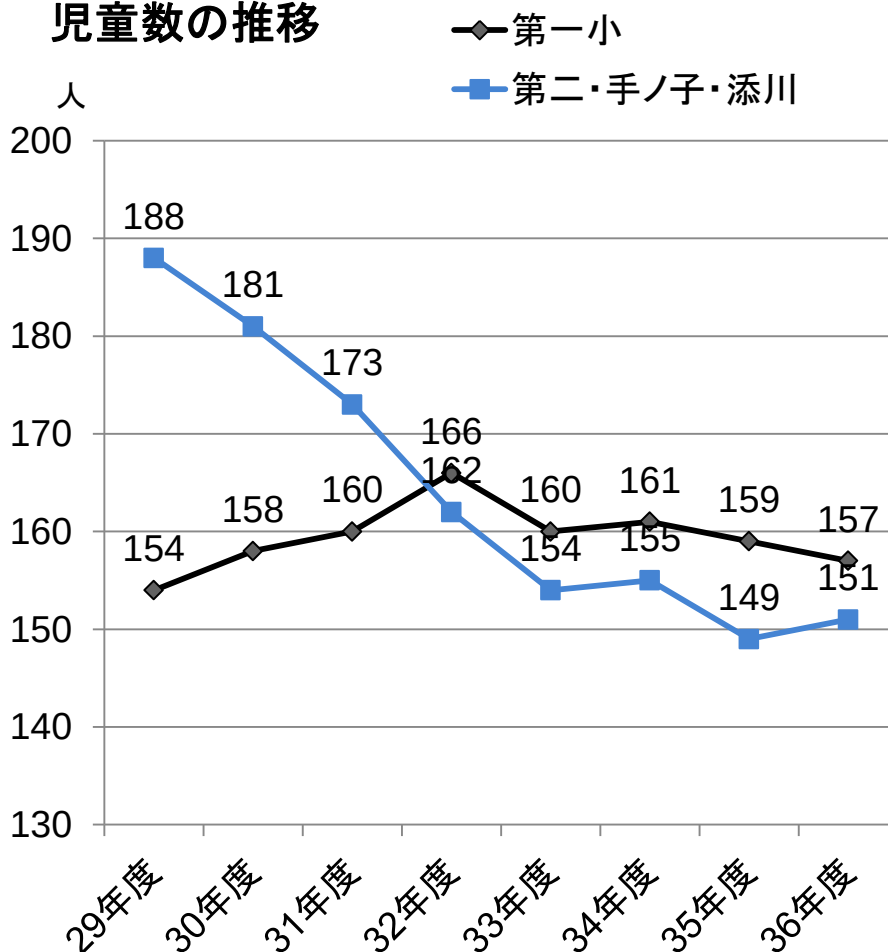
<多人数による制約>

- ・発表やリーダーなどの活躍の場
- ・教材・教具などの使用
- ・体験的活動や校外活動の受け入れ先等
- ・異学年間の活動や交流
- ・教師によるきめ細かな指導・配慮

他

町内小学校児童数の推移 (平成29～36年度)

児童数の推移



第一小学校児童数の推移

年度	29	30	31	32	33	34	35	36
1年	27	29	31	30	22	22	25	27
2年	21	27	29	31	30	22	22	25
3年	28	21	27	29	31	30	22	22
4年	24	28	21	27	29	31	30	22
5年	29	24	28	21	27	29	31	30
6年	25	29	24	28	21	27	29	31
計	154	158	160	166	160	161	159	157

第二・手ノ子・添川の3小学校児童数の推移

年度	29	30	31	32	33	34	35	36
1年	31	25	29	24	22	24	25	27
2年	23	31	25	29	24	22	24	25
3年	30	23	31	25	29	24	22	24
4年	35	30	23	31	25	29	24	22
5年	37	35	30	23	31	25	29	24
6年	32	37	35	30	23	31	25	29
計	188	181	173	162	154	155	149	151

学校の再編検討の進め方

- 第二小・手ノ子小・添川小の3校について、将来的に1つの小学校を見据え、検討していくことになります。

◇地区懇談会に向けた代表者会の開催(H29.12月終了)

- ① 保護者対象代表者会
- ② 地区住民対象代表者会

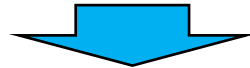


◇地区懇談会の開催

- ① 保護者対象懇談会
- ② 地区住民対象懇談会

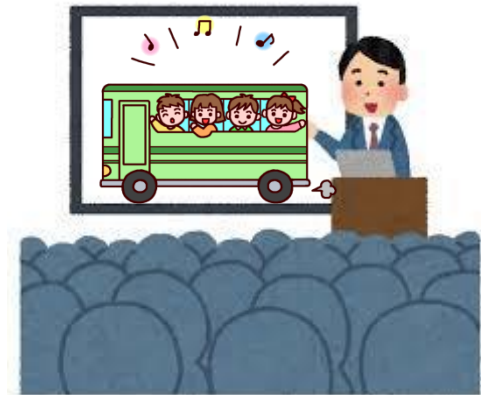


◇小学校再編に関するアンケートの実施(0～小保護者対象)



◇地区検討委員会の設置と開催

- ・小学校区単位ごとに設置、開催



地区検討委員会について

◇役割

子どもの教育環境を第一に考えるとともに、今後の地域づくりとあわせて多角的な視点で審議し、地区としての考えをまとめ、結論を出す。

◇検討委員の選出

小学校PTA及び地区協議会等が協議して選出

- ・ 15名～20名程度
- ・ 保護者、地域、関係機関等の代表の中から
- ・ 男女のバランスを考慮



地区検討委員会について

◇スケジュール

< H 3 0 年 8・9 月 ~ >

○ **第 1 回 地区検討委員会**



- ・ 開催回数・時期、内容等については、各地区の計画による
- ・ (必要に応じ) 各地区検討委員代表者会、中間報告会 等
- ・ 町への定期報告

< H 3 1 年 7 月 >

○ 各地区検討会の結論締め切り、結果集約

再編賛成の場合



統合準備委員会
(再編詳細にかかる
具体的な調整会議等)



既存施設利用

3 ~ 5 年後をめぐに

